

◇市内4地区で開催◇ 移動行政懇話会

市では、北秋田市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う移動行政懇話会を8月25日から30日にかけて4地区で開催し、市の防災や周知事項などについてお知らせするとともに、市民からさまざまな意見や要望を伺いました。その概要をお知らせします。

市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う移動行政懇話会が8月25日の阿仁地区を皮切りに始まり、参加者が市長や市の担当者や防災対策や地域の要望などについて意見を交わしました。

懇話会は、市の現状や周知事項を説明するとともに、行政への意見・要望を伺う機会として平成19年度から開催しているもので、4地区で市民約200人が参加しました。開会にあたり津谷市長は、東日本大震災について触れ「この震災を教訓として、県内で2番目の広い面積を持つ北秋田市では人々が点在しており、有事の際の安否確認や情報収集、伝達方法、そして避難所等、防災計画の見直しを行い、日本一安全で安心な北秋田市を目指したいとい

う意識を持つて取り組む覚悟を新たにしています。また、原発や津波の被害から逃れて30世帯の方々が北秋田市にも避難されてきていますが、被災地の一日も早い復興に向けて、できる限りの支援をしたいと考えています。皆さんから市の行政に対するさまざまなご意見やご提言をいただきながら、一緒に住みよい北秋田市づくり、地域づくりのための移動行政懇話会です。限られた時間ではありますが、皆様と意見交換を十分させていたきたい」とあいさつ。続いて、市の担当職員が、北秋田市の防災についての今後の取組みや災害時要援護者避難支援制度、地域支え合い体制づくり事業、浄化槽設置事業について説明しました。このうち、市の防災については、

大規模な災害の発生時に公的機関による支援、救出、援護がすぐ受けられないことが想定されるため、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の連携に基づき、役割分担の体制づくりや災害時要援護者避難経路などの情報を共有化することで一人でも多くの命を守ることを目的とした自主防災組織の立ち上げを推進していることなどを説明しました。

参加者から出された主な質問・意見とその回答は次のとおりです。

■阿仁地区（8月25日）

▽市民病院の予約診療について患者に周知徹底されていないのではないか。予約制を知らないで朝からずっと待っている人がいると聞くので、予約制についての周知徹底を病院にも話しています。予約制度をやっている診療科目があることを知らない方もいますので病院の方にも徹底するように話していきたい。

▽大阿仁出張所が避難所となっているが、夜10時以降は誰もいないのに避難所の役目を果たすのか。出張所の職員退庁後の対応が阿仁窓口センターの対応となったが、住民サービスの低下では。各避難所とも有事の際は、カギの管理者が市の連絡をもとに駆けつけ

開設することになっている。大阿仁出張所は今まで泊りの体制であったが、合理的な運営として理解していただきたい。届出等は、不便をかけたようにしたい。

■森吉地区（8月26日）

▽防災無線の故障が、たびたびあるため定期的な点検を。年1回の点検を行ってはいるが、やはり故障する場合もある。故障した場合には迅速に対応しますので、ご一報いただきたい。

▽森吉山ダムの広報館の有効活用や周辺の開発について予定があれば、教えてほしい。広報館は国から無償で借受けすることになっている。奥森吉の玄関口として、観光案内所を考えている。

また、軽食コーナーを設け、休憩所も兼ねた憩いの場にしりたいと思っている。周辺施設の整備を計画しているが、敷地が広大であり予算の関係もあるため、それも今後、検討していく。

▽避難マニュアルは、河川・水害を想定したものしか書かれていないが、震災についてのマニュアルもあるのか。現在、県で地震の被害想定に関する調査を進めており、その調査結果を基に地域防災計画の見直しをかけることとなります。この地域防災計画が、水害・震災も含めた防災計画の基本となり、避難マニュアルの基本となることから、地域防災計画の作成を早急に行いたいと考えている。

▽市道の管理について、道路の草刈りをしていただいているのは助かるが、刈った草が側溝に詰まっている。側溝の水が溢れたこともあったが、草の除去はできないのか。市道が800キ口あり、草の除去まで行えない。水が溢れるなど、そういう箇所については、情報を集め今後の検討課題としたい。

■合川地区（8月29日）

▽災害時、避難所では電気が消えトイレも使えないご飯も炊けない状況にあるが、地域支え合い体制づくり



▲4地区で開催された移動行政懇話会（合川地区会場）

民生委員はもちろんですが、自治会組織のご協力があればスムーズに進まないところもあるので、お互いに必要な情報を共有し支援制度を充実していきたい。

▽林道や作業道について、引き続き地元負担のない整備を。市では、定期的に各地域を見回りながら林道、作業道を整備しているが、年度ごとの予算の関係もあるため、具体的な現地の場所を確認し、整備を進めていきたい。

▽災害の際、どのような危険性があるかなど、迅速かつ正確な情報をお願いしたい。メール配信も良い方法とは思いますが、高齢化が進み、携帯電話の操作も分からない人もいます。TVなど、もっと分かりやすい周知方法ははないのか。

情報伝達については、公共の色々な機関を組み合わせ流していきたい。また、自治会長、民生委員の方々などには、正確な情報を迅速に伝達できる体制をつくりたいと考えているので、地域の方々への情報伝達にご協力をお願いしたい。